

University of Miyazaki Library

宮崎大学附属図書館概要

2026



宮崎大学附属図書館

附属図書館の理念及び目標

「理念」

宮崎大学附属図書館は、本学の理念・目標の実現のために、本学の教育・研究を支援する基盤組織として、図書・雑誌・電子資料等の学術情報資源を収集・整理・保存し、学生及び教職員等の利用者に提供することを使命とする。

また、本学の学術情報を国内外に発信して本学の教育・研究の発展に寄与するとともに、地域社会・国際社会の学術研究の発展及び文化の振興に貢献する。

「目標」

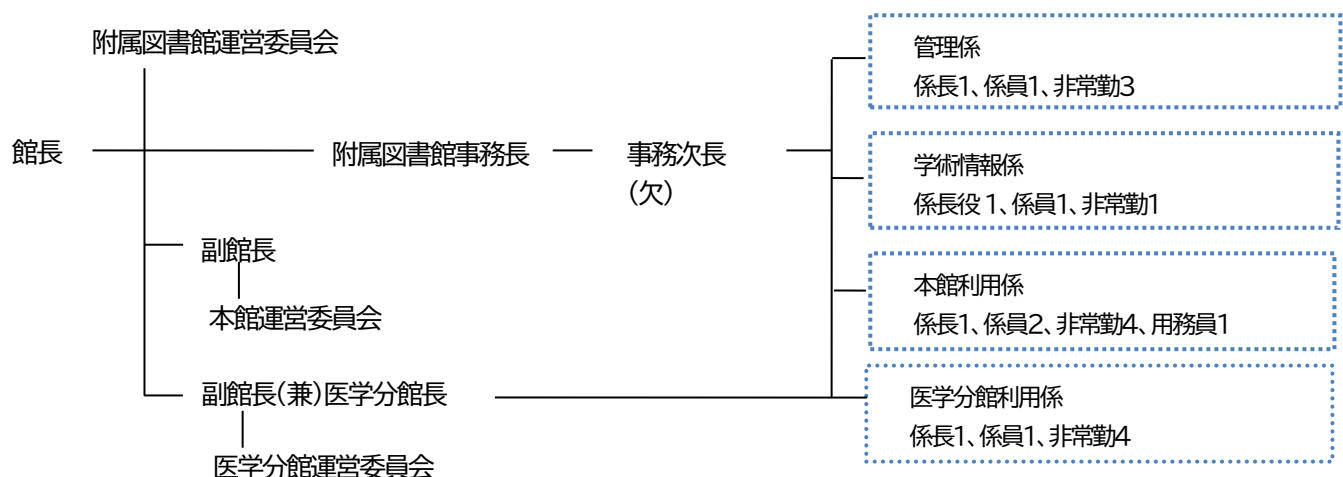
1. 利用者のニーズに対応した支援の充実・強化を図る。
2. 学術情報資料の体系的かつ計画的な収集・整備を促進する。
3. 電子図書館的機能の一層の充実を図る。
4. 教育・研究及び学習のための利用環境の快適化・多様化・機能化を推進する。
5. 研究成果等を積極的に集積・発信し、教育研究活動の活性化に資するとともに、研究資源を社会に還元する。
6. 国内外の図書館との連携及び相互協力に努め、地域社会・国際社会の発展に貢献する。
7. 図書館の理念を達成できる組織の整備を図るとともに、図書館職員の専門性の育成に努める。

沿革

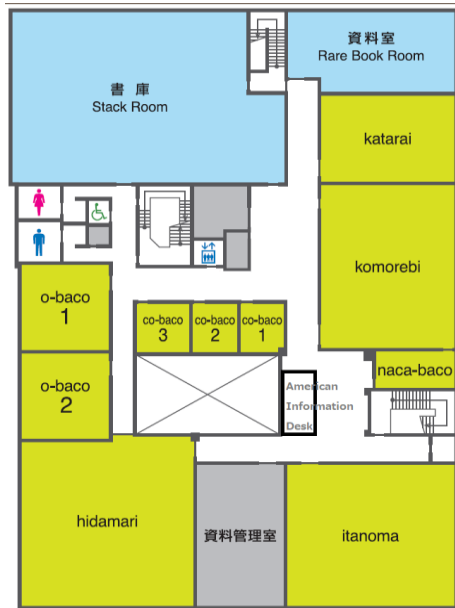
旧宮崎大学附属図書館【統合前】		旧宮崎医科大学附属図書館【統合前】	
昭和 24 年 5 月	宮崎大学設置 附属図書館設置	昭和 49 年 6 月	仮校舎に附属図書館設置
昭和 38 年 3 月	附属図書館新築工事竣工	昭和 53 年 10 月	現在地に附属図書館竣工
昭和 46 年 3 月	附属図書館増築工事竣工	昭和 53 年 11 月	附属図書館開館
昭和 62 年 7 月	現在地に附属図書館竣工		
昭和 62 年 9 月	附属図書館開館		
宮崎大学附属図書館【統合後】			
平成 15 年 10 月	旧宮崎大学と旧宮崎医科大学の統合により、附属図書館は本館と附属図書館医学分館の2館構成となり、館長、医学分館長、副館長を置く。事務組織は学術研究協力部情報図書課となる		
平成 16 年 4 月	国立大学法人化に伴い、附属図書館関係学内規程等を改正		
平成 19 年 8 月	「宮崎大学学術情報リポジトリ」の一般公開を開始		
平成 21 年 4 月	リザーブブック制度の開始		
平成 22 年 10 月	事務組織改組、情報図書部図書課となる		
平成 23 年 12 月	パスファインダー公開開始		
平成 24 年 4 月	医学分館にラーニングコモンズを設置		
平成 24 年 10 月	本館にラーニングコモンズを設置		
平成 27 年 4 月	本館にセミナールーム(アクティブラーニングサポートルーム)を設置		
平成 28 年 4 月	事務組織改組、附属図書館事務部となる		
平成 28 年 11 月	学生サポーター制度を正式に開始		
令和 2 年 1 月	附属図書館(医学分館)リニューアルオープン		
令和 2 年 7 月	附属図書館(本館)リニューアルオープン		

組織図

(令和8年5月1日現在)



<本館>



3階



hidamari



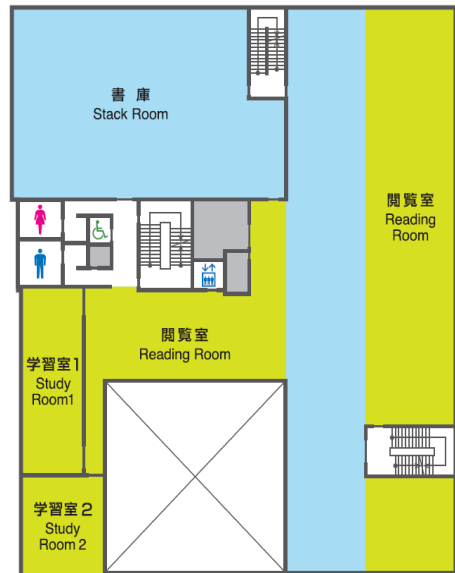
itanoma



komorebi



American Information Desk



2階



閲覧室 (開架)



閲覧室



閲覧室



学習室



1階



ワークショップコート



コミュニケーションコート

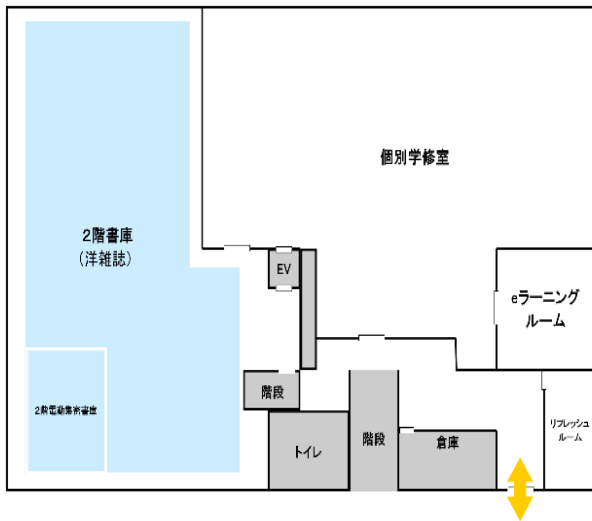


ライブラリーカフェ



絵本コーナー

<医学分館>



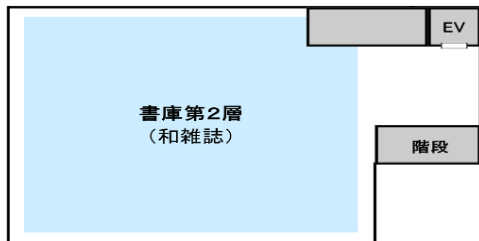
2階



リフレッシュルーム



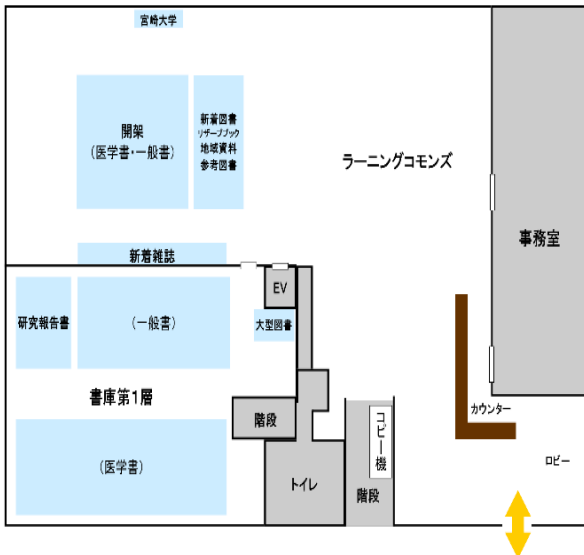
個別学修室



中2階



書庫第2層



1階



ラーニングcommons



開架閲覧席



書庫第1層

令和 7(2025)年度

宮崎市安井息軒記念館 出張展示

令和7年10月1日～17日に附属図書館本館において、宮崎市安井息軒記念館出張展示を開催しました。宮崎市安井息軒記念館が2024年冬の企画展として開催した「息軒の娘 安井息軒の教育論」のパネル等を展示しました。安井息軒(1799～1876)は日向国宮崎郡清武郷(現・宮崎県宮崎市)出身で、江戸期の儒学者です。息軒の娘「須磨子」を通して息軒のわが子への接し方や現代にも通じる教育方針などについてわかりやすく解説されていました。



宮崎県立図書館巡回展『中村地平の足跡』を開催

令和7年12月2日～12月26日に附属図書館本館において、県立図書館巡回展『中村地平の足跡』を開催しました。中村地平(本名中村治兵衛・1908-1963)は、宮崎出身の作家で、井伏鱒二に執事し、のちに太宰 治、小山祐士らとともに井伏鱒二門下の三羽鳥と称され、「土竜どももぽっくり」など3作品が芥川賞候補となりました。また、日向日日新聞社(現宮崎日日新聞社)編集総務、宮崎県立図書館長、宮崎相互銀行(現宮崎太陽銀行)取締役のち社長を務め、宮崎の文化・経済の振興に尽くしました。中村地平の幅広い足跡をパネルで紹介するとともに、あわせて当館所蔵の関連書籍も展示しました。



本館ライブラリーカフェの早朝開館を実施

利用者が特に多い試験期間中に、本館ライブラリーカフェの早朝開館を実施した。午前7時から図書館の通常開館時間(平日8時40分、土日9時)までの間、ライブラリーカフェを自習等に利用可能としたものである。早朝から利用できる学修スペースとして、多い時には約20人の学生が利用していた。



令和7(2025)年度

<本館>

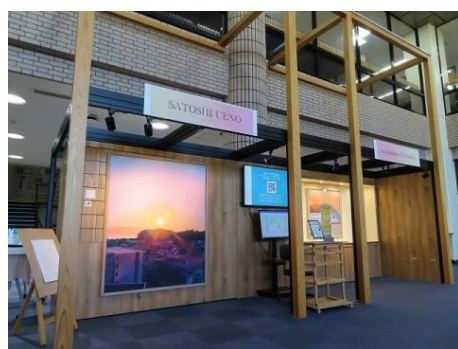
- ・図書館学生サポーター&図書館 合同企画「新入生・学生生活応援」4月1日～4月30日
- ・「情報検索・論文の書き方」5月2日～5月30日
- ・「パスファインダーを使いこなそう」6月1日～6月30日
- ・「プレゼン術」6月1日～6月30日
- ・「まんがでわかる」7月3日～7月31日
- ・世界銀行写真展「アフリカの人々と場所」7月2日～7月30日
- ・「芥川賞・直木賞」8月1日～9月30日
- ・「夏休みに読みたい本」8月1日～8月29日
- ・「防災」9月3日～9月30日
- ・「論文の書き方」10月1日～10月31日
- ・「宮崎市安井息軒記念館 出張展示」10月1日～10月17日
- ・「ノーベル賞」10月20日～12月12日
- ・「OPEN ACCESS (OA)」10月20日～10月31日
- ・「若山牧水受賞作展」11月4日～12月12日
- ・テニュアトラック推進室研究概要ポスター展 11月4日～11月28日
- ・「クリスマス」12月11日～12月26日
- ・宮崎県立図書館巡回展「中村地平の足跡」12月2日～12月26日
- ・「芥川賞・直木賞」1月6日～2月6日
- ・「パスファインダー展」1月6日～2月6日
- ・「美術教育講座絵画研究室卒業制作展」2月9日～2月13日
- ・「就活・面接・社会人展」2月16日～3月31日
- ・「本屋大賞受賞作」2月16日～3月31日

<医学分館>

- ・「新生活応援」3月21日～5月7日
- ・「文献検索/レポート・論文の書き方」5月7日～5月30日
- ・「環境と持続可能性（環境月間）」6月1日～6月30日
- ・「グラフィック・メディスン」7月1日～7月31日
- ・「宮崎の地域医療」8月1日～8月31日
- ・「ヒューマンエラー・ライフハック」9月1日～9月30日
- ・「医学と看護の歴史・人物」10月1日～10月31日
- ・「ノーベル賞」11月4日～11月30日
- ・「EBP」12月1日～1月6日
- ・「留学資料」1月6日～1月30日
- ・「学術雑誌・電子ジャーナル」2月2日～2月28日
- ・「心理的安全性」3月1日～3月31日



世界銀行写真展「アフリカの人々と場所」



「美術教育講座絵画研究室卒業制作展」



「宮崎の地域医療」



「EBP」

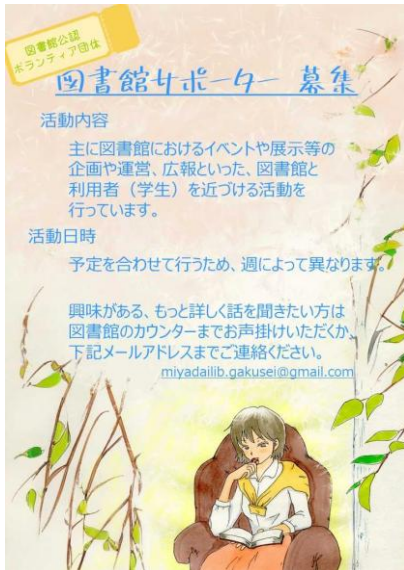
学生サポーター

学生の図書館活動への理解を深め、図書館職員と協力しながら図書館活動の活性化と図書館振興を図ることを目的として、平成28年11月、学生サポーターが正式に活動を開始しました。

活動内容

- (1) 図書館のサービス向上に向けての提案
- (2) 図書館の行事の企画及び実施にかかる補助
- (3) その他図書館の活動に関すること。

これまで、ビブリオバトル、学生選書ツアー、大学開放事業での学生サークルとのコラボ企画の提案・運営、不用図書の無償配布などで活躍してもらったほか、全国学生協働サミット(横浜市)に参加し、他大学での取り組みを学んでもらいました。令和元年度以降、複数名の学生サポーターが登録されており、いろいろな活動を通して、今後のサポーター活動にも生かしてもらいたいです。



図書館サポーター募集ポスター



図書館サポーター展

パスファインダー

平成23年度より、授業と関連したテーマについて、パスファインダー(調べ物をする際の道しるべとなる情報をまとめた資料)を作成しています。令和7年度末で153件のパスファインダーを公開しています。

コレクション

○大正新脩大藏經 全100巻

このコレクションは、膨大な数のインド仏典の漢訳を10年以上の歳月をかけて全100巻に編集したものです。梵語写本の多くが失われている現在、仏教研究者にとって漢訳仏典は非常に重要であり、特にこの大藏經はその校正の厳密さゆえに高く評価されています。

○イギリス教育史コレクション 467点

このコレクションは、16世紀イギリスの人文主義教育思想家アスカムから20世紀に至るイギリスの教育思想(史)、教育史に関するオリジナル文献・研究書を幅広く収めています。

○アレン・ハット旧蔵 世界労働運動史コレクション 996点

このコレクションは、「イギリス労働運動史」の著者として知られる労働運動史家アレン・ハットが所蔵していた、イギリス並びに英露関係を中心とした世界労働運動史の様々な文献から構成されています。

図書館データ(統計)

【蔵書構成(本館)】 (令和8年5月1日現在)

区分	総記	哲学・宗教	歴史・地理	社会科学	自然科学	工学・技術	産業	芸術・美術	言語	文学	合計
和漢書	18,986	19,437	31,115	103,483	65,544	47,194	32,091	20,118	12,357	29,441	379,766
洋書	4,137	7,390	4,854	18,306	40,048	11,361	10,007	2,251	4,714	11,973	115,041
合計	23,123	26,827	35,969	121,789	105,592	58,555	42,098	22,369	17,071	41,414	494,807

【蔵書構成(医学分館)】 (令和8年5月1日現在)

区分	基礎教育等(和洋)							合計		
	人文	社会	自然	外国語	保健体育	その他	小計			
蔵書	6,331	5,069	6,821	4,287	463	511	23,482			
区分	専門教育等									合計
	基礎医学			臨床医学			看護学			
	和書	洋書	小計	和書	洋書	小計	和書	洋書	小計	
蔵書	12,644	22,002	34,646	26,747	35,862	62,609	5,315	590	5,905	126,642

【雑誌情報】 (令和8年5月1日現在)

区分	所蔵	
	本館	医学分館
和雑誌	8,322	2,293
洋雑誌	2,763	1,732
合計	11,085	4,025

【利用状況】 (令和7年度)

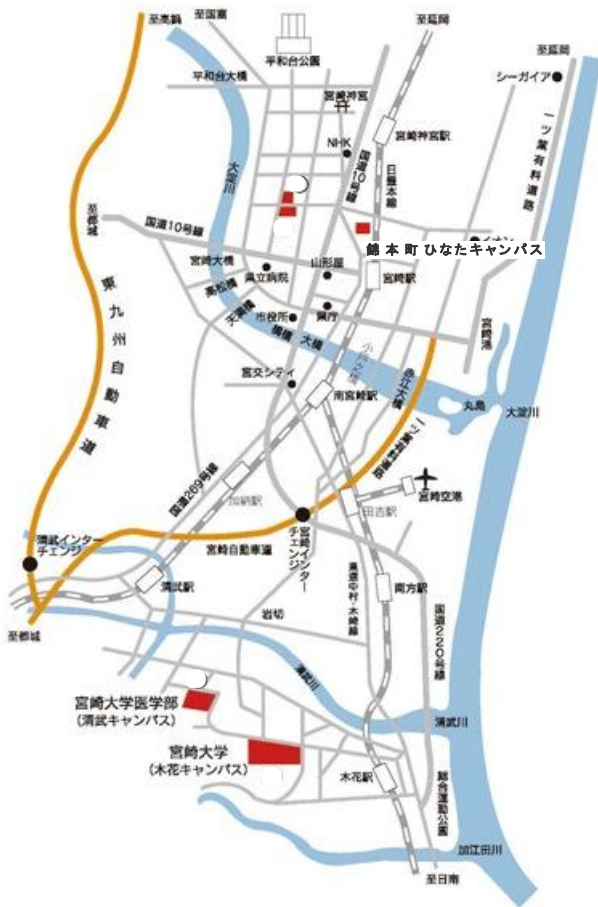
区分	本館		医学分館		
入館者(人) [うち学外者(人)]	157,017 [10,850]		68,647 [97]		
貸出	人数(人)	冊数(冊)	人数(人)	冊数(冊)	
	学生	4,387	8,530	576	948
	教職員	744	1,606	267	425
	学外者	292	660	6	14
合計	5,423	10,796	849	1,387	
レファレンスサービス(件)	883		809		
学外文献複写	依頼(件)	793		539	
	受付(件)	140		240	

【ガイダンス】 (令和7年度)

区分	本館		医学分館	
	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)
オリエンテーション	3	590	10	498
ガイダンス	35	1,181	2	72
時間外利用説明会			7	765
合計	38	1,771	19	1,265

アクセス

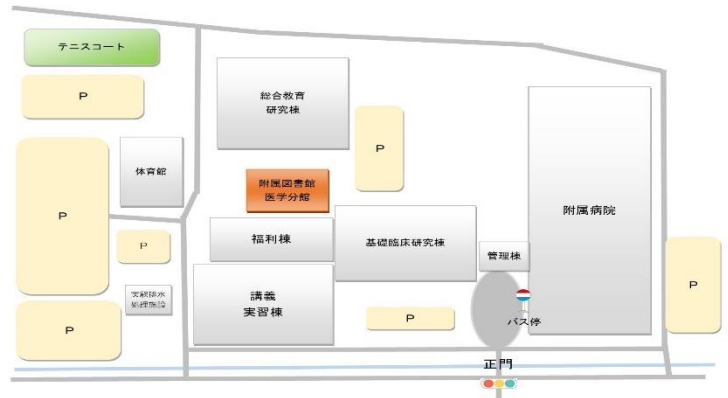
<アクセスマップ>



<本館>



<医学分館>



【交通案内】

バス利用(宮崎交通バス)

- JR日豊本線宮崎駅から 「宮崎大学・大学病院行」に乗車(約40分)
- 宮交シティバスセンターから 「宮崎大学・大学病院行」に乗車(約25分)

タクシー利用

<本館>

- JR日豊本線南宮崎駅から 約11km、約25分
- JR日豊本線清武駅から 約6km、約15分
- 宮崎空港から 約8km、約15分

<医学分館>

- JR日豊本線南宮崎駅から 約10km、約20分
- JR日豊本線清武駅から 約4km、約10分
- 宮崎空港から 約10km、約20分

宮崎大学附属図書館概要 2026

令和8年5月発行

編集発行 宮崎大学附属図書館

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

TEL 0985-58-7759 FAX 0985-58-2896

<https://www.lib.miyazaki-u.ac.jp>